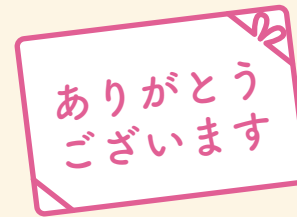




特集

福祉学習のこれまでと今、 そしてこれから

中央小4年生による「みんなで学び助け合う福祉フェスタ@はあとびあ」にて、「みんなでわくわくあそびコーナー」の様子
(令和6年12月11日)。



《令和6年 10/1～12/31》

社会福祉事業基金

心よりお悔み申し上げます

- ・奥井透さん(興道寺)より、
故 正子さんのご香典の一部
100,000円
- ・町野幹雄さん(佐田)より、
故 智恵子さんのご香典の一部
50,000円
- ・山田義浩さん(新庄)より、
故 シゲさんのご香典の一部
100,000円
- ・武田喜孝さん(宮代)より、
故 ヒデミさんのご香典の一部
100,000円
- ・澤井繁明さん(佐田)より、
故 美智子さんのご香典の一部
100,000円
- ・宮内仁美さん(敦賀市)より、
故 藤本あいさん(新庄)の
ご香典の一部100,000円
- ・とく名さんより、ご香典の一部
20,000円

篤志寄付

- ・宇都宮眞理さん(新庄)より、
20,000円(吉右エ門さん家へ)
- ・とく名さんより、100,000円

使用済み切手

- ・岡本和行さん(河原市)
- ・健康福祉課さん
- ・美浜町婦人福祉協議会さん
- ・武田豊さん(久々子)
- ・嵯峨さん
- ・(株)レインボーラインさん
- ・(有)耕雲商事さん
- ・美浜町グラウンドゴルフ協会さん
- ・MTCさん
- ・レインボー観光自動車(株)さん
- ・(有)美和木工さん
- ・嶋田指物店さん
- ・(株)武田組さん
- ・高木新光堂さん
- ・(株)カモコンさん
- ・税理士法人 竹長会計さん
- ・とく名のみなさん

使用済みテレカ

- ・とく名さん

書き損じはがき

- ・武田豊さん(久々子)

ベルマーク

- ・西下恵子さん(北田)
- ・嵯峨さん
- ・とく名さん

未使用切手

- ・とく名のみなさん

その他 各種サービスにいただきました

- ・石丸幸枝さん(山上)より、雑貨

- ・織田國雄さん(笹田)より、雑貨
- ・中條俊彦さん(敦賀市)より、
福祉用具
- ・田辺忠子さん(佐柿)より、介護
用品
- ・岡本和行さん(河原市)より、介
護用品
- ・武田豊さん(久々子)より、未使用
図書カード
- ・塚原千恵子さん(興道寺)より、野菜
- ・(株)谷口工務店さんより、日用品
- ・とく名のみなさんより、介護用品、米

「でんでんむしの家」にいただきました

- ・八木賢さん(郷市)より、野菜
- ・塚原千恵子さん(興道寺)より、野菜
- ・山口菜穂子さん(茨城県)より、
菓子、果物
- ・とく名のみなさんより、野菜、
介護用品、日用品、果物、植物、
雑貨

「弥右エ門さん家」にいただきました

- ・石丸絢子さん(山上)より、菓子、
飲料
- ・石丸甚蔵さん(山上)より、果物、
野菜、食品
- ・塚原千恵子さん(興道寺)より、野菜
- ・とく名のみなさんより、野菜、
果物、雑貨、食品、菓子

「吉右エ門さん家」にいただきました

- ・塚原千恵子さん(興道寺)より、野菜
- ・とく名のみなさんより、果物、
野菜、雑貨

※氏名、名称、金額、品名などについて、了解を得た方のみ掲載させていただきます。

編集後記

今回は福祉学習を特集しました。取材させて
いただいた山本さんが「子ども達には障がいではなく、“私”
を知ってもらいたい」と話されていたことが、強く印象に残りま
した。これからの福祉学習も、子ども達にとって、そして関わ
る全ての人達にとって、より実りあるものとなるようサポートさ
せて頂きたいとあらためて感じました。(塩浜)

発行：社会福祉法人

美浜町社会福祉協議会

(美浜町保健福祉センター「はあとびあ」内)

〒919-1141 美浜町郷市25-20

TEL (0770) 32-1164 FAX (0770) 32-5915

E-mail shakyo1164@kl.mmnet-ai.ne.jp

http://www.mihamachoshakyo.com

福井県 美浜町社協 検索



美浜町社協
ホームページ



福祉学習協力者の方に
インタビュー！

障がいよりも、「私」を知ってほしい

山本美智子さん
(郷市)

山本さんは視覚に障がいのある方として、福祉学習に20年以上ご協力くださっています。今回は、福祉学習のこれまでと今、そしてこれからについて伺いました。

Q. 福祉学習のこれまでと今で、何か変化を感じますか？

子どもたちの私への接し方が変わってきたように思います。この間私が買い物をしている時に「美智子さん！」と声をかけてくれた子がいました。今までになかったことで、とても嬉しかったです。また授業で学校へ行った際にもみんなが出迎えてくれて、私の手を引いて教室へ案内してくれたり、授業中も私の一挙手・一投足に驚く声がたくさんあったりと、以前よりも更に私と「たくさん関わろう」として「もっと知ろう」と思ってくれているのかな、と感じています。

Q. その変化の理由は何だと思えますか？

座学ではなく交流の機会が多くなったからだと思います。休憩時間もたくさん話をして、子どもたちとの距離が縮まったと思います。また、4年生の子どもたちが他学年の子に福祉学習の内容を紹介する機会もあり、私のことを4年生よりも前に知ってくれている子が増えたのだと思います。そして事前に先生が子どもたちに私が「どういった人なのか」をある程度伝えてくれているのだと思います。いずれも、福祉学習が定着してきた証だと思っています。

Q. 今後の福祉学習への思いと、やってみたいことを教えてください。

私は子どもたちに、「障がい」よりも「私自身」を知ってもらいたいと思っています。苦手なことはあるけどできることはたくさんあるし、楽しみもあります。それをみんなに知ってもらい分かち合えたら、みんなに「相手をよく知ることの大切さ」に気づいてもらえると思います。私はサウンドテーブルテニスというスポーツが好きなので、ぜひ子どもたち、そして老若男女問わず一緒にやってみたいです。子どもたちもスポーツを通して、もっと多くの人と関われる機会になると思います。



- ① 子どもたちが借りてきたバリアフリー絵本と一緒に読む様子。
- ② 子どもたちが考えたオリジナルの「物当てゲーム」。山本さんも子どもたちも、みんなで楽しみました。
- ③ 名前を書く山本さん。最後には驚きの声と大きな拍手が起きました。

ほっとかないまちづくり - 福祉学習のこれまでと今、そしてこれから -

どんな授業をしているの？

美浜町社協では、町内各小学校の福祉学習に協力しています。高齢者・障がいのある方・妊婦さん等のテーマに合わせ、それぞれ町民の方を招いて交流の機会を創出しています。私たちは「まず相手のことをよく知る」、それこそが思いやりを育む第一歩だと考えています。授業内容は、担任の先生との綿密な打ち合わせを通して、一緒に考えていきます。



- ① 山本さん(次頁で紹介)との交流に向けて、アイマスクで目が見えない感覚を体験。
- ② 車イス操作を学ぶ。下り坂は後ろ向きでゆっくりと。
- ③ 高齢者とのより良いコミュニケーションの仕方を、社協職員が実践で紹介。相手の目を見て、ゆっくり・はっきり話すのがポイント。

「知る」、その次のステップへ

福祉学習で様々な方との交流を通して学んだことをそこで留めるのではなく、子どもたちが自らアイデアを出して準備をし、交流イベントを開催しています。福祉学習に関わってくださった方や保護者の方々などを広く招き、自分たちが学んだことを参加者と共有することで、福祉の学びを地域へと広げています。



- ① 中央小4年生「みんなで学び助け合う福祉フェスタ@はあとびあ」での、手話体験コーナー
- ② 同イベント内の高齢者疑似体験コーナー。子どもたちが「自分たちが体験したことを共有したい」との思いで実施。
- ③ 同イベント内、担当するコーナーの説明を一生懸命に行う様子。

あなたの声を聞かせてください

本記事に関する感想やご意見などお待ちしております。授業内容のアイデアなども募集しています！



美浜町社協LINEアカウント
電話: 32-1164

切さに気付くということは、子どもたちにとっての「財産」になると同時に、それは多様な人たちが共に生きる社会(共生社会)の実現においても大きな力になると考えます。私たちは福祉学習がその一助になると信じ、これからも学校の先生方と共に、さらなる福祉学習の充実に努めていきたいと思います。

一方で、福祉学習は学校教育の現場だけではなく、地域福祉の観点においても重要な意味を持っています。子どもたちのところから地域の人達と広く関わる機会があること、またその中で他人を理解して思いやることの大切さ。

より良い授業の形を作り上げる中で大切なのは、担任の先生との細かな打ち合わせです。教育のプロである学校の先生と、福祉の専門職である私たちが、それぞれに充実した福祉学習、すなわち子どもたちの「学びたい」「知りたい」の声に答えられる授業内容を話し合うことで、「例年通り」ではなく、その年ならではのオリジナルの授業が作られていきます。

福祉学習の授業の形は、年々変化しています。社協職員が教壇に立ち、「高齢者」や「障がい」といった限られたテーマの中で、社協として伝えたい福祉観を子どもたちに話す場であったものが、現在では子どもたちの「福祉の何を学びたいのか」「何を知りたいのか」という声に基づいて授業が組み立てられています。

歳末たすけあい募金へのご協力、
ありがとうございます！



12月から展開している歳末たすけあい募金に、町民の皆様から多くのご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。企業・団体の皆様からもご協力をいただきましたので、お名前をご紹介します。ただきます(令和6年度の赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金の実績報告は、次号に掲載いたします)。ありがとうございます。

ご協力いただいた企業・店舗様

令和7年1月14日現在
※美浜町共同募金委員会が直接お預かりした企業・店舗のみを掲載しています。
※敬称略、五十音順
愛美産業(株)
(有)エース商会
(有)奥村鉄工所
尾島硝子店(株)
(株)カモコン
関電プラント(株)原子力事業本部
(株)金吾設備
(株)原子力安全システム研究所
(株)原子力安全システム研究所 職員有志
清水工業(株)
ジョイント美容室

(株)西方
高石機械産業(株)敦賀営業所
(株)谷口工務店
(株)知場プラント
敦賀信用金庫美浜支店職員一同
敦賀土建工業(株)
(株)NUCLEAR TECHNOLOGY 職員一同
橋本佳和税理士事務所
美容室minik
三方郡建設業会
美方生コン(株)
(株)美浜商事
みはまデンタルクリニック
美浜発電所安全衛生協議会
(有)美和木工
レインボー観光自動車(株)

ありがとうございます！



使い道について

歳末たすけあい運動は共同募金運動の1つで、新たな年を迎える時期に、支援を必要としている方々が安心して暮らせるよう実施している募金運動です。美浜町共同募金委員会では、誰もが安心して年を越せるよう、次のような事業を実施しています。

●図書カードのお渡し

民生児童委員の皆様にご協力をいただき、町内の要保護・準要保護のお子さんに図書カードをお渡ししています。



昨年末、民生児童委員さんを通じてお渡ししました。

●当事者団体、ボランティア団体等への助成

町内の福祉団体が、地域住民同士の交流を深め、社会的な孤立防止や経済的に困難な家庭を支援するために実施する事業を支援します。

ボランティア喫茶
はあとステーション & おでかけワゴン
ボランティアさん大募集！



はあとステーションって？

はあとびあで、ボランティアさんが実施する喫茶です。おいしいコーヒーやお弁当とボランティアさんの明るい笑顔で、とてもなごやかな雰囲気です。

場所：保健福祉センターはあとびあロビー

日時：毎週水・金曜日 11:30～14:00

内容：コーヒーやお弁当の販売、
子どもの遊び場開放（ホール）



おいしいコーヒーに加え、
お昼のお弁当やパンも
大人気です！



昨年12月25日クリスマス会の様子(やはず歌声サークルさんのコーラス)。
季節に応じた
イベントも
実施しています。

おでかけワゴンって？

移動手段がない方のお出かけをお手伝いしています。金融機関やお買い物など、要件は様々です。



運転手と付き添い、
ともにボランティアさんが
サポートされています。



ボランティアさんは
男性・女性問わず
活動されています！

「ありがとう」と
言ってもらえる時に、
やりがいを感じます！

喫茶でいろんな世代
と関わるのが
とても楽しいです！



ボランティアだより

ボランティアのみなさんへのインタビューが掲載されています！ぜひ一度ご覧ください。

《お問合せ先》

美浜町社会福祉協議会

電話：32-1164（担当：小林）



1月11日(第1回目)、食事と合わせて体操も行われました。



12月15日、餅つきが行われました。

団体名：ダワーズ交流会
事業名：みんなの食堂

「ダワーズ交流会」

和田区民を対象として、みんなの食堂を開催しました。

団体名：だれでもウエルカム食堂
事業名：安心して暮らせる居場所

「だれでもウエルカム食堂」

菅浜区内65歳以上のお一人暮らしの方を対象として、みんなの食堂(計2回)を開催します。

大切な人を亡くされた方へ 「おはなし会」のお知らせ

身近なご家族や親しい方を亡くされた方同士で、気軽にお茶をのみなから、今抱えている思いを話していただける場として、「おはなし会」を開催します。

【日時】令和7年3月5日(水)10:00～11:30

【場所】保健福祉センターはあとびあ

【参加費】無料

【コーディネーター】

日本グリーフケア協会認定特級アドバイザー
山崎純子さん

参加希望の方は、前日までに
美浜町社協(32-1164)へご連絡ください。



長年の活動、 ありがとうございます！

長年、地域福祉活動にご尽力をされた塚原千恵子さんが福井県知事表彰を、また松田秀夫さんが全国民生児童委員連合会会長表彰と福井県社協会長表彰を、それぞれ受賞されました。

【表彰を受けられた方々】

社会福祉事業功労者知事表彰 塚原千恵子様

平成5年からお弁当の配達ボランティアを始められ、ボランティア活動の話等を通じて青少年の育成にも尽力されました。現在もお野菜のご寄付をしてくださっています。

全国民生児童委員連合会 会長表彰
福井県社会福祉協議会 会長表彰 松田秀夫様

平成25年から美浜町民生児童委員を務められ、また平成31年からは美浜町民生児童委員協議会監事を務められています。住民の見守り活動やふれあいサロン、また介護施設の訪問等のボランティア活動にも尽力されてます。



令和6年11月8日、町長に受賞を報告。左から松田さん、戸嶋町長、塚原さん

ご寄付をいただきました

ティアトゥリ
(株)TIATURI様、Kireina様、
ZUTTOみんなのStudio様、
Pomera様より、Mahana秋祭りの収益の一部

として、デイサービスセンターほほえみに足湯機、
また(株)TIATURI様より、地域福祉活動へ
車椅子をご寄付いただきました。それぞれ、利用者の皆様、町民の皆様

に喜んでいただけるように大切に使用させていただきます。ありがとうございました。



(写真左から) (株)TIATURIマネージャー 小幡睦月(むつき)さん、代表取締役角森希望(のぞみ)さん、デイサービスセンターほほえみ 高木所長、加賀山社協副会長、乙見社協会長

ご寄付いただいた車椅子。
町民の皆様に貸し出ししておりますので、ぜひご利用ください。

福祉サービス利用 援助事業のご案内

福祉サービス利用援助事業は、高齢の方や障がいのある方など、ご自身だけで契約手続きや金銭管理を行うことが難しい方を支援する事業です。

福祉サービスを利用したい
けれど手続きがわからない
預貯金の管理や公共料金の
支払いが不安

という方が、安心して日常生活を送れるようサポートいたします。

Q.どんな人が対象なの？

この事業の対象となるのは、判断能力が十分でない方で、具体的には認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者などの方々です。ただし、すべての判断能力が失われている場合は対象外となるため、別途「成年後見制度」の活用が必要になる場合があります。

生活支援員さん募集！

生活支援員は、ご利用者の自宅を訪問し、契約に基づき金銭管理や手続きのサポートを行う役割を担います。ご利用者の生活を支えるやりがいのある活動ですので、関心のある方はぜひお問い合わせください。



生活支援員さんの
インタビュー

<お問い合わせ>
美浜町高齢者・障害者日常生活自立支援
センター(社協内) 電話32-1164

Q.成年後見制度と何が違うの？

成年後見制度は、判断能力が著しく低下した方に対して、家庭裁判所の審判により選任された成年後見人が財産管理や身上監護を行う制度です。一方、福祉サービス利用援助事業は、判断能力がある程度残っている方が対象で、日常的な金銭管理や手続き支援を中心に行います。

具体的な支援内容には以下のようなものがあります。

- 福祉サービス利用の手続き支援
- 生活費の管理や必要な支払い(公共料金、家賃など)のサポート
- 預貯金の出し入れのサポート
- 書類の整理や保管の援助

書き損じた年賀状など、 ぜひ社協にお持ちください！

美浜町社協では、次の物品の収集を行っています。ご協力をお願いいたします。

○書き損じはがき

郵便局にて切手や未使用はがきと交換し、福祉事業に活用させていただきます。

○使用済みの切手・テレカ

「NPO法人誕生日ありがとう運動本部」に寄贈し、ストラップやしおり等になり販売されます。その収益は知的ハンディキャップの問題啓発に関する活動に役立てられます。(切手の切り取り方は下記)

○ベルマーク

町内の各学校に寄贈します。

○未使用の切手・テレカはがき

福祉事業に活用させていただきます。



収集ボックスは、はあとびあ窓口の隣に設置しています。物品をボックスに入れ、寄付記録カードにご記入のうえ、窓口でカードをお渡しください。



- 使用済み切手は、消印が欠けないように切り取ってください。
- 封筒やハガキからはがした切手や、印字のみの消印は収集できません。

